【１年　地理的分野】　第１編　世界と日本の地域構成

第１章　世界の姿

（配当７時間）
学習指導要領との関連：Ａ（１）①

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
2	p.8～9	■編罫 ■導入の活動 クイズカードを作ろう	知技	●世界の国・日本の都道府県の特色を記したカードの作成やクイズの出題・回答を通して、小学校で身に付けた知識を整理している。
			態度	●設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
3	p.10～11	1 地球の姿を見てみよう	知技	●衛星写真や地球儀を活用し、大陸と海洋の大まかな形状と位置関係を理解している。
			知技	●六大陸、三大洋、６州の名称と位置、大きさについて理解し、その知識を身に付けている。
4 5	p.12～15	2 世界のさまざまな国々	知技	●地図帳の世界地図や国旗から、国の面積の大小、国境線を含めたさまざまな形を理解している。
			思判表	●地図帳から直線的な国境線とその他の国境線が引かれた理由の違いを考察している。
			知技	●教科書および地図帳の統計資料を活用して、各国の面積や人口について適切に調べている。
			知技	●主な国々の名称と位置、世界の地域区分を理解し、その知識を地図上で身に付けている。
6	p.16～17	3 地球上の位置を表そう	知技	●緯度と経度を活用して特定の国や都市の地球上の位置を適切に表すことができている。
			知技	●地図帳を用いてさまざまな都市の位置を探している。
7	p.18～19	4 地球儀と世界地図を比べてみよう	知技	●地球儀を使いながら距離、方位などを調べるための技能を身に付けている。
			思判表	●さまざまな世界地図（地球儀を含む）を比較しながら、それぞれの長所や短所についてまとめている。
8	p.20～21	■まとめの活動 １編１章の学習をまとめよう	知技	○探究課題を追究したり、「世界の国クイズ 上級編」を作成したりする過程で緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを振り返り、世界の地域構成を大観し理解している。
			思判表	○世界の地域構成の特色を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究している。

第２章　日本の姿

（配当６時間）
学習指導要領との関連：Ａ（１）②

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
9	p.22～23	1 世界の中での日本の位置	知技	●緯度や経度を利用しながら日本が世界の中でどのような位置にあるか理解している。
			思判表	●日本の位置を緯度や経度、他地域との関係など多角的な視点から考察し、表現している。
			態度	●設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
10	p.24～25	2 時差から見た日本の位置	知技	●標準時と時差の仕組みを理解し、地図や計算に基づいて他国と日本の時差について理解している。
			知技	●時差を通して地球上における日本と世界各地との位置関係を捉え、日本の地域構成の特色を大観し理解している。
11	p.26～27	3 日本の領域の特色	知技	●日本の領域・排他的経済水域の範囲や国境について理解している。
			思判表	●他国と比較してなぜ日本が国土面積の割に広い領海や排他的経済水域を持つかを、地図に基づいて説明している。
12	p.28～29	4 北方領土・竹島と尖閣諸島	知技	●竹島、北方領土、尖閣諸島の位置や特色、領土をめぐる問題の存在について理解している。
			思判表	●竹島、北方領土、尖閣諸島がなぜ近隣諸国と問題になっているのか、また、よりよい社会の実現へ向けてどのようにすべきかを考察している。
13	p.30～31	5 日本の都道府県と県庁所在地	知技	●都道府県や都道府県庁所在地の名称と位置を、地図上の境界や現在に残る昔の地名・旧国名と関連付けて理解している。
			知技	●７地方区分について地図から読み取り、その名称や範囲を理解している。
14	p.32～33	■まとめの活動 １編２章の学習をまとめよう	知技	○探究課題を追究したり、「日本の都道府県クイズ 上級編」を作成したりする過程で日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化などを振り返り、日本の地域構成を大観し理解している。
			思判表	○日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究している。

第２編　世界のさまざまな地域

第１章　人々の生活と環境

（配当10時間）
学習指導要領との関連：Ｂ（１）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
15	p.34～35	■章罫 ■導入の活動 人々の暮らしを写真から探ろう	思判表	●写真資料の比較から、各地の自然環境の特色を読み取り、気付いたことを表にまとめている。
			態度	●写真資料から、自然環境が異なる地域の人々の生活を比較、追究しながら、設定した探究課題の答えを予想し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
16	p.36～37	1 雪と氷の中で暮らす人々	思判表	●過去と現在のイヌイットの生活を比較し、その変容がどのような条件によるのかを考察している。
			知技	●イヌイットの生活の舞台を調べるために、雨温図の読み取り方を身に付けている。
17	p.38～39	2 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	思判表	●シベリアに住む人々の生活の特色について自然環境と関連付けて考察している。
			知技	●写真や映像資料、雨温図などから、日本の自然環境と比較し、その違いや共通点を読み取っている。
18	p.40～41	3 温暖な土地に暮らす人々	思判表	●温帯の気候で生活している人々の暮らしについて自分たちの生活と比較しながらその特色を考察し、その結果を適切にまとめ、表現している。
			知技	●古い町並みや伝統的な食文化を保存しようとする人々の努力について理解している。
19	p.42～43	4 乾燥した土地に暮らす人々	知技	●サヘルに住む人々の生活の様子を理解し、それらの特色を自然環境と関連付けて説明できる知識を身に付けている。
			思判表	●乾燥した地域で暮らす人々の生活や文化が生まれた背景と変化の過程について、自然及び社会的条件を踏まえて考察し、その考察の結果を論述している。
20	p.44～45	5 常夏の島で暮らす人々	思判表	●農産物や食生活、伝統的な文化などに関連付けて、熱帯の気候で暮らす人々の生活の様子を考察し、論述している。
			知技	●自然豊かなサモアでは、地域開発の必要性や課題があることや、その解決のための手立てについて理解している。
21	p.46～47	6 標高の高い土地に暮らす人々	知技	●高地に暮らす人々の生活やその変化について、さまざまな資料を通して理解している。
			知技	●高地における人々の生活について、既得知識と関連付けて特色を理解し、その知識を身に付けている。
-	p.48～49	［もっと知りたい！］ 世界に見られるさまざまな気候	知技	●世界各地のさまざまな気候は、さらに細かく区分できることを気候区分図から読み取っている。
			思判表	●風景や植生写真、雨温図、気候区分図などの関連から、各気候区の特色を考察し、表や地図を作成してまとめている。
22	p.50～51	7 伝統的な生活文化とその変化	知技	●世界各地の人々の暮らしの特色を、写真や地図などから読み取り、自然環境と関連付けて理解している。
			知技	●写真や地図などから人々の伝統的な生活が変化していることを捉え、その背景について説明できる知識を身に付けている。
23	p.52～53	8 人々の生活に根付く宗教	知技	●世界的に広がる主な宗教の分布の広がりや生活との関わりを大まかに把握し、具体的な例を挙げて地球儀や世界地図を用いて説明できる知識を身に付けている。
			思判表	●世界的に広がる主な宗教の分布の様子を主題図から読み取り、特色をまとめている。
24	p.54～57	■まとめの活動 ２編１章の学習をまとめよう	知技	○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることや、宗教を含む世界の人々の生活の多様性について「世界旅行」の「旅程表」を作成する形でまとめ、理解している。
			思判表	○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目し、「世界旅行」という形で多面的・多角的に考察し表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予想をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

第２章　世界の諸地域

（配当29時間）
学習指導要領との関連：B（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.58～59	■章扉 ■導入の活動 SDGsから「地球的課題」を考えよう	知技	●SDGsのピクトグラムや写真資料から、具体的な地球的課題を読み取り、理解している。
			思判表	●複数の写真資料の比較から各州の地球的課題について考え、ワークシートにまとめ、表現している。

１節　アジア州

（配当７時間）
学習指導要領との関連 ：B（２）①

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.60～61	■節扉 ■世界の窓 ーアジア編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、アジア州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、アジア州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
25	p.62～63	1 アジア州をながめて	知技	●変化に富む自然環境や、多彩な文化が見られ、都市化が急速に進むアジア州を概観し、理解している。
			態度	●アジア州の概観を通して設定した探究課題の答えを予想し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
26	p.64～65	2 巨大な人口が支える中国	思判表	●中国の工業化が進んだ理由を、経済政策と人口の観点から考察している。
			知技	●中国の経済成長と経済格差の広がりについて理解している。
27	p.66～67	3 急速に変化する韓国	思判表	●韓国で急速に経済成長した理由を、輸出品の変化から捉えた産業構造の変化などの観点から考察している。
			知技	●韓国に見られる首都への一極集中や都市の過密問題について理解している。
28	p.68～69	4 都市化が進む東南アジア	知技	●東南アジアでは輸出品が原材料から機械類などの工業製品に変化していることを読み取っている。。
			思判表	●東南アジアの農村と都市の変化について、農村から都市への人口移動、都市問題などの視点から考察している。
29	p.70～71	5 人口増加が続く南アジア	知技	●写真やグラフなどの資料から、インドの工業発展や人口増加の様子とその問題点を捉えている。
			思判表	●インドの経済発展の理由について他地域との結び付きに着目して考察している。
30	p.72～73	6 資源が豊富な西アジア・中央アジア	知技	●地図やグラフなどの資料から、西アジアや中央アジアの国々が鉱産資源に頼っていることを読み取っている。
			思判表	●資料から西アジアや中央アジアの経済発展の共通点について考察し、それを適切に表現している。
31	p.74～76	■まとめの活動 アジア州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう①	思判表	○アジア州において急速に経済が成長してきた理由や課題について多面的・多角的に考察し、具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
			知技	○これまで学んできたアジア州の経済成長の理由や課題を表にまとめて振り返り、アジア州の地域的特色を理解している。
-	p.77	［もっと知りたい！］ ムスリムの暮らしを知ろう	知技	●ムスリムが「クルアーン（コーラン）」にしたがって日常生活を営んでいることと、地域によってその関わりに違いが見られることを理解している。
			思判表	●イスラーム（イスラム教）をはじめ、宗教に対してどのような捉え方をすべきかを考察している。

２節　ヨーロッパ州

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ：B（２）②

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.78～79	■節扉 ■世界の窓 ーヨーロッパ編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、ヨーロッパ州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、ヨーロッパ州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
32	p.80～81	1 ヨーロッパ州をながめて	知技	●ヨーロッパ州には、民族を基にした小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、共通の文化が見られることなどを概観し、ヨーロッパ統合の背景を理解している。
			態度	●ヨーロッパ州を概観して設定した探究課題の答え予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
33	p.82～83	2 ヨーロッパ統合の動き	知技	●ヨーロッパ州が統合を進めてきたことを、国境をこえた交通網や通勤・買い物、共通通貨などのさまざまな資料を関連付けることで読み取っている。
			思判表	●ヨーロッパ州の国々が国境をこえて統合することの利点について、産業、人々の生活、交通の三つの視点から説明している。
34	p.84～85	3 持続可能な社会に向けて	知技	●ヨーロッパ州の環境に配慮した消費生活やエネルギー利用、観光に対する考え方などを資料から読み取り、理解している。
			思判表	●ヨーロッパ州で起こっている国境をこえた環境問題について、EU共通の取り組みの視点から考察している。
35	p.86～87	4 ヨーロッパ統合がかかえる課題	知技	●EU各国の平均賃金や、ヨーロッパに居住する外国人の出身国の主題図などから、EUが抱える課題を読み取っている。
			思判表	●ヨーロッパが統合することの問題点や課題を、EU加盟国間の対立やEUと他地域との関係に着目して説明している。
36	p.88～90	■まとめの活動 ヨーロッパ州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう②	知技	○これまで学んできたヨーロッパ州の地域的特色を踏まえて、地域統合が進んできた背景や良い影響、課題を図にまとめて振り返り、ヨーロッパ州の地域的特色を理解している。
			思判表	○ ヨーロッパ州において、地域統合が進んできた背景や良い影響、課題を踏まえて、今後どのようにしていくべきかについて多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○ 単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
-	p.91	［もっと知りたい！］ アジアとヨーロッパにまたがる国 ロシア	知技	●ロシアの鉱産資源の分布図から、それぞれの地域で発達している工業を、気候や地形などと関連付けて読み取っている。
			思判表	●ヨーロッパの国々とロシア連邦の結び付きについて、産業や交通の視点から考察している。

３節　アフリカ州

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ：B（２）③

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.92～93	■節扉 ■世界の窓 ーアフリカ編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、アフリカ州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、アフリカ州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
37	p.94～95	1 アフリカ州をながめて	知技	●広大な砂漠を持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。
			態度	●アフリカ州の概観を通して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
38	p.96～97	2 アフリカの産業における課題	知技	●アフリカ州の農業と工業の特色や問題点を、さまざまな資料を関連付けて読み取っている。
			思判表	●アフリカ州の産業から、国際支援が必要な背景を多面的・多角的に考察している。
39	p.98～99	3 発展に向けた課題	思判表	●写真や表から、アフリカ州では都市化が進む一方で、農村地域との格差や生活水準が異なることを説明している。
			知技	●現在のアフリカ州が持つ課題について、三つの視点（都市化、人口増加、環境問題）を踏まえて理解している。
40	p.100～102	■まとめの活動 アフリカ州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう③	思判表	○アフリカ州において、国際支援が必要とされている背景を踏まえて、今後の、具体的な支援策を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
			知技	○アフリカ州の課題とその要因、解決に向けた取り組みを図にまとめて振り返り、アフリカ州の地域的特色を理解している。
-	p.103	［もっと知りたい！］ 情報化で変わるアフリカの暮らしと社会	知技	●情報化の進展によって、アフリカ社会に金融、医療、生活面で「モバイル革命」が起こるなど、大きな変化が起こっていることを理解している。
			思判表	●アフリカで急速にスマートフォンが普及した理由を、大規模なインフラ整備を必要としない回線網、先進国のICT産業のアフリカへの進出と関連付けて説明している。

４節　北アメリカ州

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ：B（２）④

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.104～105	■節扉 ■世界の窓 ー北アメリカ編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、北アメリカ州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、北アメリカ州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
41	p.106～107	1 北アメリカ州をながめて	知技	●大陸と島々からなる多様な自然、移民によって持ちこみ育まれた文化、世界に影響を与える巨大な経済力などの特色を概観し、理解している。
			態度	●北アメリカ州を概観して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
42	p.108～109	2 巨大な農業生産力	知技	●アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、主題図や写真などのさまざまな資料を関連付けて読み取っている。
			思判表	●アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方式、農場経営の仕方などの特色から説明している。
43	p.110～111	3 巨大な工業生産力	思判表	●アメリカ合衆国の五大湖沿岸、サンベルトの工業地域について、主な工業の種類とそれが発展した理由を比べて、図表などにまとめている。
			知技	●アメリカ合衆国では、移民が産業の発展に重要な役割を果たしてきたことを理解している。
44	p.112～113	4 新しい産業と生活文化	知技	●アメリカ合衆国の生活文化が、世界の国々に大きな影響を与えていることを理解している。
			思判表	●アメリカ文化が世界中に広がっている理由を、人の動きに着目して説明している。
45	p.114～116	■まとめの活動 北アメリカ州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう④	思判表	○アメリカ合衆国の発展が今後続いていくのかどうかを多面的・多角的に考察し、その結果や過程を通して、アメリカ合衆国へ移民が多く見られる背景を、具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
			知技	○北アメリカ州でアメリカ合衆国への移民が多く見られる背景として、これまで学んできたアメリカ合衆国の地域的特色を踏まえた図にまとめて振り返り、理解している。
-	p.117	［もっと知りたい！］ 巨大ハリケーンを予測せよ	知技	●ハリケーンについて、その進路や被害の大きさとその対策について理解している。
			思判表	●ハリケーンセンターがマイアミに置かれている理由を考察し、表現している。

５節　南アメリカ州

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ： B（２）⑤

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.118～119	■節扉 ■世界の窓 ー南アメリカ編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、南アメリカ州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、南アメリカ州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
46	p.120～121	1 南アメリカ州をながめて	知技	●南北に細長い大陸の自然環境、混血の進行と新しい文化の形成、急速な経済の発展などの特色を概観し、理解している。
			態度	●南アメリカ州の概観を通して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
47	p.122～123	2 自然環境を生かした暮らしと産業	知技	●南アメリカ州の自然環境の特色を、写真や模式図などの資料から読み取っている。
			思判表	●南アメリカの特徴的な地域である、アマゾン川流域、熱帯林の各地域で営まれてきた伝統的な生活を、自然環境との共生という観点から説明している。
48	p.124～125	3 開発の進行と影響	知技	●アマゾン川流域で森林が減少している理由を、写真や主題図、グラフなどの資料から、大規模な開発と関連付けて読み取っている。
			思判表	●アマゾン川流域の大規模な開発に起因する環境問題の解決に向けて、持続可能な開発の観点から説明している。
49	p.126～128	■まとめの活動 南アメリカ州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう（実践編①）	思判表	○南アメリカ州において森林が減少している背景を踏まえて、持続可能な南アメリカ州の開発へ向けて多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予想をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
			知技	○南アメリカ州で森林が減少している背景を、これまで学んできた南アメリカ州の森林開発の状況を図にまとめて振り返り、南アメリカ州の地域的特色を理解している。
-	p.129	［もっと知りたい！］ 海の向こうで活躍する日系人	知技	●南アメリカ州には日系人が多いことやその活躍について理解している。
			知技	●日系人がブラジル社会でさまざまな貢献をしてきたことについて、具体例を踏まえて理解している。

６節　オセアニア州

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ： B（２）⑥

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.130～131	■節扉 ■世界の窓 ーオセアニア編ー	態度	●扉や「世界の窓」を見て、オセアニア州への関心を高めるとともに、小学校で身に付けた知識を整理して主体的に学習に取り組もうとしている。
			知技	●「世界の窓」の六つの資料などから、オセアニア州の地域的な特色を大まかに捉え、理解している。
50	p.132～133	1 オセアニア州をながめて	知技	●乾燥大陸と島々から成る自然、先住民の文化、貿易相手国の変化、などの特色を概観し、理解している。
			態度	●オセアニア州の概観を通して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
51	p.134～135	2 貿易や経済による他地域との結び付き	知技	●オーストラリアやニュージーランドの農牧業や鉱業の特色を、さまざまな資料を関連付けながら読み取っている。
			思判表	●オーストラリアの輸出品や貿易相手国の変化について、アジア州との結び付きに着目して説明している。
52	p.136～137	3 人々による他地域との結び付き	知技	●オセアニア・アジア間の人と人との結び付きや関わりが深まってきていることを理解している。
			思判表	●オーストラリアを事例に、人種や民族、文化の異なる人々が共存して社会を築いていくためには何が必要かを、議論したり、意見交換したりしている。
53	p.138～140	■まとめの活動 オセアニア州の学習をまとめよう ［資料から発見！］資料を活用する力をきたえよう（実践編②）	思判表	○オセアニア州においてアジアとの結び付きが強くなってきた理由を、多文化社会を築こうとしている理由と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予想をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
			知技	●オセアニア州でアジアとの結び付きが強まってきている背景を、これまで学んできたオセアニア州の他国との結び付きの変化を図にまとめて振り返り、オセアニア州の地域的特色を理解している。
-	p.141	［もっと知りたい！］ 水没から国土を救え	知技	●ツバルの環境問題の実態やその解決に向けて、国際的な協力の必要性などを理解している。
			態度	●環境問題への取り組みについて、地球規模と身近な地域の両方の視点から、主体的に考えようとしている。
-	p.142～143	■まとめの活動 「地球的課題」をふり返ろう	思判表	●各州の地球的課題についてSDGsと関連付けて考察し、全地球的な「18番目のゴール」を設定しようとしている。
			態度	●地球的課題を基にして、身近な地域や日本の課題について考えようとしている。
主な評価材料			知技、思判表	行動観察、プリント、ペーパーテスト、提出物の内容
			態度	家庭学習、行動観察、プリント、提出物の内容

【１年　歴史的分野】　第１章　歴史へのとびら

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
１節　歴史をとらえる見方・考え方				
2	p.8～9	歴史の流れ	知技	○ 年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。
3	p.10～11	1 時期や年代の表し方	知技	○ 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。
4	p.12～13	2 歴史の流れのとらえ方	思判表	○ 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。
5	p.14～15	3 時代の特色のとらえ方	態度	○ 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方といった歴史をとらえる方法を、主体的に追究しようとしている。
２節　身近な地域の歴史				
6	p.16～17	1 テーマと問いを設定して調査・考察しよう	知技	○ 様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめたりしている。
			思判表	○ 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。
7	p.18～19	2 まとめと発表をしよう	態度	○ 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

地域の歴史を調べよう

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： A（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.40～41	大陸への玄関口 福岡	知技	○ 調査して収集した課題に関連する情報を、年表などに適切にまとめている。
			知技	○ 調査活動を通じて、福岡が大陸とどのような交流があったかを理解している。
			思判表	○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察している。
			態度	○ 身近な地域の歴史について、地域の歴史の特徴を明らかにしようとする学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。
-	p138～139	藩の政治と産業 会津	知技	○ 博物館や地元の人々への聞き取りから、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。
			知技	○ 調査活動を通じて、会津藩でどのような政治が行われたのかを理解している。
			思判表	○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察している。
			態度	○ 身近な地域の歴史について、地域の歴史の特徴を明らかにしようとする学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。
-	p.164～165	幕末を生きた先人たち　福井	知技	○ 博物館や他地域の人々への聞き取りから、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。
			知技	○ 調査活動を通じて、幕末の福井の人々が江戸幕府とどう関わり影響を与えたか理解している。
			思判表	○ 身近な地域の歴史に関する情報を相関図などに整理したり、他地域の人々からの情報を整理したりして、身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察している。
			態度	○ 身近な地域の歴史について、地域の歴史の特徴を明らかにしようとする学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。
-	p.182～183	明治維新のまちづくり　新潟	知技	○ デジタルアーカイブや博物館等での調査などの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて地図などにまとめる技能を身に付けている。
			知技	○ 調査活動を通じて、明治維新の影響で新潟がどのように変化したか理解している。
			思判表	○ 身近な地域の歴史に関する情報を地図などに整理し、身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察している。
			態度	○ 身近な地域の歴史について、地域の歴史の特徴を明らかにしようとする学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。
-	p.238～239	被爆建物の保存と継承　広島	知技	○ 被爆建物を継承する意義を考えるために必要な様々な視点からの情報を表などにまとめる技能を身に付けている。
			思判表	○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察している。
			態度	○ 身近な地域の歴史について、地域の歴史の特徴を明らかにしようとする学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。

第２章　古代までの日本

（配当19時間）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
8	p.22～23	■導入の活動 平城京が造られるまでの歴史を大きくなが	思判表	● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	● 古代の日本ではどのように国家が形成されたのかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

１節　世界の古代文明と宗教のおこり

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： B(1)ア(ア)、イ(ア)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
9	p.24～25	1 人類の出現と進化	知技	● 人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。
			思判表	● 人類の成長を置かれた環境と関連付けて考察し、表現している。
10	p.26～27	2 古代文明のおこりと発展	知技	● それぞれの古代文明の特徴を理解している。
			思判表	● 古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。
11	p.28～29	3 中国文明の発展	知技	● 中国の古代文明それぞれの王朝の特徴を理解している。
			思判表	● 中国の古代文明の王朝の移り変わりを、王朝の特徴を比較しながら考察し、表現している。
12	p.30～31	4 ギリシャ・ローマの文明	知技	● ギリシャやローマがどのような政治制度を取って発展したかを理解している。
			思判表	● ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現代の政治制度やヨーロッパ文化との共通点に着目して考察し、表現している。
13	p.32～33	5 宗教のおこりと三大宗教	知技	● 仏教、キリスト教、イスラム教の特徴の概略を理解している。
			思判表	● 三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。
	p.60	■探究のステップ	知技	○ 古代文明の特徴や宗教の概略を理解している。
			思判表	○ 古代文明や宗教など、人類が誕生してから生み出してきたものを、環境の変化や人類の成長などと関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 世界の古代文明や宗教など人類が生み出してきたものについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

２節　日本列島の誕生と大陸との交流

（配当３時間）
学習指導要領との関連 ： B(1)ア(イ)、イ(ア)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	

14	p.34～35	1 旧石器時代と縄文時代の暮らし	知技	● 様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。
			思判表	● 縄文時代の人々の暮らしの特徴を、当時の自然環境と関連付けて考察し、表現している。
15	p.36～37	2 弥生時代の暮らしと邪馬台国	知技	● 弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解している。
			思判表	● 中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。
16	p.38～39	3 大王の時代	知技	● 大和政権の勢力が拡大されていく過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。
			思判表	● 大和政権の勢力拡大の動きが朝鮮半島との交流の影響を受けていることに着目して考察し、表現している。
	p.61	■探究のステップ	知技	○ 日本列島で国家が誕生した経緯を理解している。
			思判表	○ 日本列島における国家の誕生について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節　古代国家の歩みと東アジア

（配当10時間）
学習指導要領との関連 ： B(1) ア(ア)(イ)、イ(ア)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
17	p.42～43	1 聖徳太子の政治改革	知技	● 聖徳太子や蘇我氏が行った国づくりの特色を理解している。
			思判表	● 聖徳太子や蘇我氏が目指した国づくりの特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。
18	p.44～45	2 東アジアの緊張と律令国家への歩み	知技	● 大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。
			思判表	● 律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きと関連付けて考察し、表現している。
19	p.46～47	3 律令国家の成立と平城京	知技	● 律令制度による古代国家の仕組みを理解している。
			思判表	● 律令による古代国家の仕組みについて、中国の影響と関連付けて考察し、表現している。
20	p.48～49	4 奈良時代の人々の暮らし	知技	● 奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解している。
			思判表	● 奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。
21	p.50～51	5 天平文化	知技	● 天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。
			思判表	● 天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。
22	p.52～53	6 平安京と律令国家の変化	知技	● 桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。
			思判表	● 平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。
23	p.54～55	7 摂関政治の時代	知技	● 10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。
			思判表	● 10世紀の政治の在り方を、それまでからの変化に着目して考察し、表現している。
24	p.56～57	8 国風文化	知技	● 仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の国風文化の特色を理解している。
			思判表	● 国風文化の形成について、大陸の文化の影響に着目して考察し、表現している。
	p.61	■探究のステップ	知技	○ 日本がどのように律令国家を建設したかを理解している。
			思判表	○ 日本が律令国家を建設していった過程について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 古代の政治の変化、古代の文化と東アジアとの関わりからどのように律令国家が成立したかについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
-	p.58～59	[もっと知りたい！] 現代に生きる神話	知技	● 日本各地の神話が各地の伝統芸能の中で語り継がれていることを理解している。
			思判表	● 日本の神話は各地の様々な伝統芸能の中に生きていることを考察し、表現している。
25 26	p.60～63	■まとめの活動	知技	○ 古代の日本ではどのように国家が形成されたかを理解している。
			思判表	○ 古代の日本でどのように国家が形成されたかを、東アジアとの関わりと関連付けて考察し、表現している。
			思判表	○ 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。※B(1)イ(イ)
			態度	○ 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第３章　中世の日本

（配当16時間）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
27	p.64～65	■導入の活動 中世の武士の暮らしを探ろう	思判表	● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	● 武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのかという探究課題に対して、学習の見通しを持って主体的に取り組もうとしている。

1節　武士の政権の成立

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： B(2) ア(ア)、イ(ア)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
28	p.66～67	1 武士の成長	知技	● 武士が武力を使って成長していったことを理解している。
			思判表	● 武士が次第に成長していったことを、地方で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。
29	p68～69	2 院政から武士の政権へ	知技	● 平清盛など武士が力を強め政治の実権を握る過程を理解している。
			思判表	● 武士が政治の実権を握る過程を、院政の展開や保元・平治の乱における武士の動向と関連付けて考察し、表現している。
30	p.70～71	3 鎌倉幕府の成立と執権政治	知技	● 鎌倉幕府が御家人との関係で成立した組織であったことを理解している。
			思判表	● 鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している
31	p.72～73	4 武士と民衆の生活	知技	● 鎌倉時代の地頭の役割や、農業と商業の発達の様子を理解している。
			思判表	● 鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。
32	p.74～75	5 鎌倉時代の文化と宗教	知技	● 鎌倉時代の文化や宗教と特色を理解している。
			思判表	● 鎌倉時代の文化や宗教の特色について、時代背景や文化の担い手、仏教の教えの変化に関連付けて考察し、表現している。
	p.94	■探究のステップ	知技	○ 武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解している。
			思判表	○ 武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由について、戦乱と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 武家政治の成立について武士が社会を動かすほどになった理由と、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2節　ユーラシアの動きと武士の

（配当10時間）
学習指導要領との関連 ： B(2) ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
33	p.76～77	1 中世のユーラシア大陸	知技	● 中世のユーラシア大陸ではヨーロッパ世界とイスラーム世界がつながっていったことを理解している。
			思判表	● 中世ユーラシアで東西のつながりが生まれた理由を、イスラーム世界の拡大や十字軍の活動と関連付けて考察し、表現している。
34	p.78～79	2 モンゴル帝国とユーラシア世界	知技	● モンゴル帝国が成立、拡大する中で、東西の交流が盛んとなり、ユーラシア世界が形成した ことを理解している。
			思判表	● ユーラシア全体で一体化が進んだことを、モンゴル帝国拡大による東西の交流やムスリム商人の活動の活発化と関連付けて考察し、表現している。
35	p.80～81	3 モンゴルの襲来	知技	● モンゴルの襲来が日本に北条氏への権力集中や幕府支配の動揺という影響を与えたことを理解している。
			思判表	● モンゴルの襲来と日本への影響について、将軍と御家人との関係と関連付けて考察し、表現している。
36	p.82～83	4 南北朝の動乱と室町幕府	知技	● 朝廷が二つに分裂した影響や、守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。
			思判表	● 室町幕府の特徴を鎌倉幕府と比較しながら考察し、表現している。
37	p.84～85	5 東アジアとの交流	知技	● 日本が明、朝鮮とどのような関係を築いたか理解している。
			思判表	● 日本が東アジア世界でどのような外交関係を築いたかを、貿易や交易に着目して考察し、表現している。
-	p.86～87	[もっと知りたい！] 東アジア世界の国々の交流と琉球文化	知技	● 琉球王国が東アジア世界で活発な活動をする中で、独自の文化を築いてきたことを理解している。
			思判表	● 琉球王国の文化の特徴を、中国との関係や中継貿易と関連付けて考察し、表現している。
38	p.88～89	6 産業の発達と民衆の生活	知技	● 室町時代の産業が発展し、庶民が自治を始めるまで成長したことを理解している。
			思判表	● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。
39	p.90～91	7 応仁の乱と戦国大名	知技	● 応仁の乱後、戦国大名たちによる新しい時代が始まったことを理解している。
			思判表	● 応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに着目して考察し、表現している。
40	p.92～93	8 室町文化とその広がり	知技	● 武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。
			思判表	● 室町時代の文化の特色を、身分や地域といった広がりや、時代を超えて受け継がれていることに着目して考察し、表現している。
	p.95	■探究のステップ	知技	○ 中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を理解している。
			思判表	○ 中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を、産業の発達や国際関係、時代背景と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
41 42	p.94～97	■まとめの活動	知技	○ 中世の日本では、社会がどのように変化したかを理解している。
			思判表	○ 中世の日本ではどのように社会が変化したかについて、東アジアの動向や民衆の成長や活動と関連付けて考察し、表現している。
			思判表	○ 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※B(2)イ(イ)
			態度	○ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
主な評価材料			知技、思判表	行動観察，プリント，ペーパーテスト、提出物の内容
			態度	家庭学習、行動観察，プリント、提出物の内容

【２年　地理的分野】　第３編　日本のさまざまな地域

第１章　地域調査の手法

（配当６時間）
学習指導要領との関連：C（１）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
54	p.144～145	1 調査テーマを決めよう	思判表	●身近な地域の特色に着目して、適切な調査テーマを設定している。
55 56	p.146～149	2 地形図を読み取ろう	知技	●縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の基本的な読み取り方を理解し、地理的技能を身に付けている。
			知技	●地形図から身近な地域の特色を読み取り、理解している。
			知技	●空中写真やデジタル地図、新旧地図を比較して、地域の様子や変化の読み取り方を理解し、地理的技能を身に付けている。
			知技	●さまざまな資料から、身近な地域の特色や変化を捉えている。
57	p.150～151	3 調査計画を立てよう	態度	●身近な地域の特色や課題を予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
			知技	●さまざまな資料から有用な情報を選択して、地域の特色などを読み取るなどの地理的技能を身に付けている。
58	p.152～153	4 野外調査に出よう	知技	●野外調査や聞き取り調査の視点や方法を理解し、地理的技能を身に付けている。
			知技	●野外調査を通して地域的特色や課題を理解している。
59	p.154～155	5 調査の結果をまとめ発表しよう	知技	○観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法を踏まえた地理的なまとめ方の基礎を理解している。
			思判表	○地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○地域調査の手法について、単元冒頭で立てた予測をはじめとして、自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に調査テーマを追究し、社会に関わろうという態度を示している。

第３編　日本のさまざまな地域

第２章　日本の地域的特色

（配当11時間）
学習指導要領との関連：C（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
60	p.156～157	■導入の活動 日本がどのような国かイメージしよう	知技	●日本の特色に関して集めた資料を使って関連図を作成し、日本にはさまざまな地域的特色があることを理解している。
			態度	●日本の地域的特色に関して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。

61	p.158～161	1 地形から見た日本の特色	知技	●日本の自然環境に関する特色を主題図や分布図から適切に読み取り、日本の山地・山脈、川、平地、海岸の分布や特色、海洋に囲まれた国土の特色について理解している。
			思判表	●日本の地域的特色を、山地・山脈、河川、平地、海などに着目して、これらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。
62	p.162～163	2 気候から見た日本の特色	知技	●日本の気候の特色を景観写真や雨温図、気候区分図から読み取り、日本の気候の特色を理解している。
			思判表	●日本列島が六つの気候帯に大きく区分できる理由について日本の山地・山脈の分布や細長い地形などに着目して多面的に考察している。
63	p.164～165	3 日本で見られるさまざまな自然災害	知技	●日本で発生する自然災害について、その原因となる自然現象や社会への影響について理解している。
			思判表	●日本で自然災害が多く発生している理由を自然環境の特色だけでなく、人間活動の変化の側面からも考察している。
64	p.166～168	4 防災・減災に向けた取り組みと課題	知技	●諸資料から、日本の多様な自然災害と防災への取り組みなどに着目し、日本は自然災害が発生しやすい地域が多く、その分防災・減災対策に努めていることを理解している。
			知技	●さまざまな人々が連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを理解している。
-	p.169	[もっと知りたい！] 鉄道が支える地域の復興	知技	●鉄道の復旧によって災害で被害を受けた地域の復興につながっていった事例について調べ、公共交通機関が果たす役割を理解している。
			思判表	●自然災害によって鉄道が被害を受けることの影響について、他地域との結び付きの視点から考察している。
65	p.170～171	5 人口から見た日本の特色	知技	●人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化などの資料から、少子高齢化の実態を、国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り、日本の人口に関する課題を理解している。
			思判表	●過疎、過密地域が抱える課題について、多面的・多角的に考察している。
66	p.172～173	6 資源・エネルギーから見た日本の特色	思判表	●日本の資源・エネルギー利用の現状や日本の発電方法に着目して、日本の課題について多面的・多角的に考察している。
			知技	●日本の抱える環境、エネルギー問題に対処するために、再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解している。
67	p.174～175	7 産業から見た日本の特色	知技	●日本の食料自給率が低下していること、産業の空洞化が起きていることなどを諸資料から読み取り、知識を得ている。
			思判表	●日本の第三次産業が盛んな地域について、その理由を考察している。
68	p.176～177	8 交通・通信から見た日本の特色	思判表	●日本で輸送手段に違いが見られる原因を、輸送距離、時間、地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。
			知技	●日本の交通網の整備が進んでおり、世界的な拠点の一つになっていることを理解している。
69	p.178～179	9 さまざまな視点から日本を地域区分しよう	知技	●日本中国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。
			思判表	●①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。
70	p.180～181	■まとめの活動 3編2章の学習をまとめよう	知技	○①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を、図にまとめて振り返り、日本の地域的特色を理解している。
			思判表	○日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目し、それらを関連付けて「外国人の誤解を解く」という形で多面的・多角的に考察し、具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
-	p.182	[もっと知りたい！] 日本の発電所を見てみよう	知技	●従来の水力、火力、原子力の発電所の位置の特色、発電方法、新しい発電方法の特徴と課題について、さまざまな資料から読み取っている。
			思判表	●よりよい社会の実現を視野に、これからの日本の発電の在り方について、多面的・多角的に考察している。

第３章　日本の諸地域

（配当35時間）
学習指導要領との関連：C（３）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
-	p.183	■章扉	態度	●地域の特色を捉える視点に関心を持ち、日本の諸地域の学習に対する見通しを持とうとしている。
			知技	●地域に見られるさまざまな事象を視点ごとに整理して捉えている。

１節　九州地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）①

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
71	p.184～187	■節扉 1 九州地方をながめて	知技	●火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気候からなる自然、盛んな農業、北部の平野に多い人口などの特色を理解している。
			態度	●自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
72	p.188～189	2 自然がもたらす災害や困難	知技	●桜島の火山噴火にともなう自然災害の実情や災害報道、人々が行う火山灰対策を理解している。
			思判表	●九州地方の風雨にともなう自然災害を、土地や気候といった自然環境の特色と関連付けて考察している。
73	p.190～191	3 自然を生かした生活や産業	知技	●大分県が火山の恵みを、温泉地や地熱発電所に利用してきたことを理解している。
			知技	●九州地方の農業は南北で大きく異なること、沖縄県では美しい自然環境を生かした観光業が盛んであることを、それぞれの自然条件や課題と結び付けて捉えている。
74	p.192～193	4 環境と開発の両立を目指して	知技	●北九州市の新旧写真の比較や水俣市のごみ分別の現状から、環境が大きく改善したことを読み取り、両市の環境保全への取り組みを理解している。
			思判表	●北九州市と水俣市の環境問題に関する共通点と相違点を捉え、持続可能な社会を実現するための取り組みについて考察している。
75	p.194～195	■まとめの活動 九州地方の学習をまとめよう	知技	○自然環境を中核とする考察の仕方を基に、学んできた九州地方の地域的特色やそこで生ずる課題を図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○九州地方で、自然環境の影響を受けつつ、特色ある産業や生活・文化が発達してきた理由を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

２節　中国・四国地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）④

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
76	p.196～199	■節扉 1 中国・四国地方をながめて	知技	●自然環境の異なる三つの地域、人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備、瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●交通・通信を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
77	p.200～201	2 交通網の整備と人々の生活の変化	知技	●中国・四国地方では、城下町を起源とする都市が拠点となって古くから交通が発達し、他地域との結び付きによって都市が発展してきたことを理解している。
			思判表	●交通網の整備を、移動時間の短縮やストロー現象などと関連付けて考察している。
78	p.202～203	3 交通網の整備と産業の変化	知技	●原料や製品の輸送に着目して、海上輸送に適した瀬戸内で工業が発達してきた背景について理解している。
			知技	●高速道路などの交通網の整備によって農水産物が大都市に輸送できるようになり、市場が拡大し競争力が高まったことを理解している。
79	p.204～205	4 人・物・情報で結ばれる地域と世界	知技	●過疎地域が山間部や瀬戸内海の島々の多くに分布していることをその原因や対策とともに理解している。
			思判表	●過疎地域の対策について、交通・通信網の整備と関連付けて考察し、表現している。
80	p.206～207	■まとめの活動 中国・四国地方の学習をまとめよう	知技	○交通・通信を中核とする考察の仕方を基に、学んできた中国・四国地方の地域的特色や交通・通信網の発達による変化を図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○中国・四国地方で、交通・通信網が重要な役割を果たしている理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を通して具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

３節　近畿地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ：C（３）②

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
81	p.208～211	■節扉 1 近畿地方をながめて	知技	●南北で大きく異なる地形や気候、人口や産業の変化などの特色を大まかに理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●人口や都市・村落を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
82	p.212～213	2 大都市圏の形成と古都の歴史	知技	●大阪大都市圏を中心に、早くから都市と産業が発達した背景を理解し、その知識を身に付けている。
			思判表	●京都市に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題について、多面的・多角的に考察している。
83	p.214～215	3 ニュータウンの変化と農村の変化	知技	●神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその課題を、地図や写真を使って読み取っている。
			思判表	●ニュータウンや過疎化が進む地域の課題について、都市と農村の変化の視点から多面的・多角的に考察している。
84	p.216～217	4 山村・漁村の暮らしと地域の結び付きの変化	知技	●地図を通して過疎地域が都市から離れた山間部や離島に分布していることを理解している。
			思判表	●過疎地域の対策について、都市部との交流と関連付けて考察し、表現している。
85	p.218～219	■まとめの活動 近畿地方の学習をまとめよう	知技	○人口や都市・村落を中核とする考察の仕方を基に学んできた近畿地方の地域的特色やそこで生ずる課題を表にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○近畿地方の人口・都市・村落の変化の理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測探究をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

４節　中部地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）③

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
86	p.220～223	■節扉 1 中部地方をながめて	知技	●三つに分かれる地域の地形や気候、日本最大の工業生産額とその他の特色ある産業、東海地方に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●産業を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
87	p.224～225	2 中京工業地帯と東海の産業	思判表	●東海の工業の特色について、交通網や貿易などの社会的条件と関連付けて多面的・多角的に考察している。
			知技	●東海の農業の特色を、自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連付けて読み取っている。
88	p.226～227	3 中央高地の産業の移り変わり	知技	●中央高地の農業や工業の特色を、自然の特色や交通の発達、戦争との関連などを示す資料と関連付けて読み取っている。
			知技	●宿場町や合掌造り集落を活用して観光業を盛んに行っていることを理解している。
89	p.228～229	4 北陸の米づくりと個性ある地場産業	知技	●北陸の農業や工業の特色を、豊富な雪どけ水などを示す資料と関連付けて読み取っている。
			思判表	●北陸の伝統産業や地場産業が発展した理由について、冬に雪が多い気候の特色と関連付けて考察し、その過程や結果を表現している。
90	p.230～231	■まとめの活動 中部地方の学習をまとめよう	知技	●産業を中核とする考察の仕方を基に学んできた中部地方で盛んな産業と、その産業が盛んとなった理由を図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	●中部地方の個性豊かな産業が発達している理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。

			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

5節　関東地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）④

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
91	p.232～235	■節扉 1 関東地方をながめて	知技	●山地に囲まれた広大な平野と特色ある気候、日本最大の人口密集地域、日本の交通と通信の中心地などの特色を理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●交通・通信を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
92	p.236～237	2 世界や日本と結び付く東京	知技	●東京にさまざまな機能が集中している理由を、政治的中枢機能が集中していることと関連付けて捉えている。
			思判表	●関東地方と世界との結び付きについて、在留外国人数、大使館の分布などの資料を基に、多面的・多角的に考察し、表現している。
			知技	●特に外国人観光客の増加について写真やグラフから読み取り、交通網の発達が関連していることを理解している。
93	p.238～239	3 通勤・通学で結び付く東京大都市圏	知技	●東京を中心として交通網が形成され、通勤・通学で強い結び付きをもった東京大都市圏が拡大していったことを理解している。
			思判表	●東京の都心部と郊外の関係について、通勤・通学や都市機能の分散を交通網と関連付けて考察し、表現している。
94	p.240～241	4 人や物が集まる大消費地の関東地方	知技	●関東地方の農業や工業の特色とその変容について、東京と周辺地域との結び付きや人口分布の変化などに着目して捉えている。
			思判表	●関東地方の農業地域と大消費地との関連を考察している。
95	p.242～243	■まとめの活動 関東地方の学習をまとめよう	知技	○交通・通信を中核とする考察の仕方を基に学んできた関東地方の地域的特色を、東京と世界や日本の他の地域との結び付きの形や手段を図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

6節　東北地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）⑤

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
96	p.244～247	■節扉 1 東北地方をながめて	知技	●山地が多く東西で大きく異なる気候、盛んな農業、鉄道や道路の路線に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●伝統的な生活・文化を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
97	p.248～249	2 伝統行事と生活・文化	知技	●祭りをはじめとする独特の民俗行事や習慣を示す写真資料を通して、東北地方の生活・文化の特色を理解している。
			知技	●伝統行事や食文化、習慣と、農業や気候との関連を通して、東北地方の地域的特色を捉えている。
98	p.250～251	3 伝統産業の変化とグローバル化	知技	●東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について、自然環境の特色と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
			思判表	●東北地方の産業の課題や転換について、時代や社会の動きなどと関連付けて、多面的・多角的に考察している。
99	p.252～253	4 記憶の継承と地域づくり	知技	●東日本大震災の被害の経験について関心を持ち、過去の災害の教訓がどのように生かされているのかを理解している。
			思判表	●石碑や伝承などを通して、人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ、未来へ向けて生かそうとしてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。
100	p.254～255	■まとめの活動 東北地方の学習をまとめよう	知技	○生活・文化を中核とする考察の仕方を基に学んできた東北地方の地域的特色を、受け継がれている生活・文化に着目して図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○東北地方で伝統的な生活・文化が守られ、継承されてきた理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

7節　北海道地方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C（３）①

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
101	p.256～259	■節扉 1 北海道地方をながめて	知技	●日本の約20％をしめる広大な面積、亜寒帯に属す気候、盛んな農業、少ない人口などの地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。
			態度	●自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
102	p.260～261	2 自然を生かした生活や産業	知技	●冬の寒さや火山活動による厳しい自然環境に対して、人々がどのような工夫を行っているのかを資料などから適切に読み取っている。
			思判表	●北海道地方では、冬の寒さや火山、豊かな海を利用した産業が行われていることを多面的・多角的に考察し、表現している。
103	p.262～263	3 厳しい自然や社会の変化への対応	知技	●農業に適さない気候や土壌の問題に対して、人々がどのように対応し、乗りこえて農業を営んできたか理解し、その知識を身に付けている。
			思判表	●現在、北海道の人々が直面している課題に対して、どのように対応すべきかを多面的・多角的に考察している。
104	p.264～265	4 世界とのつながりと環境とのかかわり	知技	●気候の特色によって、北海道地方への観光客が8月に多いことを理解している。
			思判表	●北海道地方の観光業について、広がるエコツーリズムなどの持続可能な社会づくりと関連付けて考察し、表現している。
105	p.266～267	■まとめの活動 北海道地方の学習をまとめよう	知技	○自然環境を中核とする考察の仕方を基に、学んできた北海道地方の地域的特色を、関連する事象を結び付けて図にまとめて振り返り、理解している。
			思判表	○北海道地方で、自然環境の影響を受けつつ、たくさんの農作物を出荷したり、観光客をひきつけたりしている理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
主な評価材料			知技、思判表	行動観察，プリント，ペーパーテスト、提出物の内容
			態度	家庭学習、行動観察，プリント、提出物の内容

【２年　歴史的分野】　第３章　中世の日本

２節　ユーラシアの動きと武士の

（配当10時間）
学習指導要領との関連 ： B(2) ア(ｱ)(ｲ)(ｳ)、ｲ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
36	p.82～83	4 南北朝の動乱と室町幕府	知技	● 朝廷が二つに分裂した影響や、守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。
			思判表	● 室町幕府の特徴を鎌倉幕府と比較しながら考察し、表現している。
37	p.84～85	5 東アジアとの交流	知技	● 日本が明、朝鮮とどのような関係を築いたか理解している。
			思判表	● 日本が東アジア世界でどのような外交関係を築いたかを、貿易や交易に着目して考察し、表現している。
-	p.86～87	［もっと知りたい！］ 東アジア世界の国々の交流と琉球文化	知技	● 琉球王国が東アジア世界で活発な活動をする中で、独自の文化を築いてきたことを理解している。
			思判表	● 琉球王国の文化の特徴を、中国との関係や中継貿易と関連付けて考察し、表現している。
38	p.88～89	6 産業の発達と民衆の生活	知技	● 室町時代の産業が発展し、庶民が自治を始めるまで成長したことを理解している。
			思判表	● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。
39	p.90～91	7 応仁の乱と戦国大名	知技	● 応仁の乱後、戦国大名たちによる新しい時代が始まったことを理解している。
			思判表	● 応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに着目して考察し、表現している。
40	p.92～93	8 室町文化とその広がり	知技	● 武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。
			思判表	● 室町時代の文化の特色を、身分や地域といった広がりや、時代を超えて受け継がれていることに着目して考察し、表現している。
	p.95	■探究のステップ	知技	○ 中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を理解している。
			思判表	○ 中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を、産業の発達や国際関係、時代背景と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
41 42	p.94～97	■まとめの活動	知技	○ 中世の日本では、社会がどのように変化したかを理解している。
			思判表	○ 中世の日本ではどのように社会が変化したかについて、東アジアの動向や民衆の成長や活動と関連付けて考察し、表現している。
			思判表	○ 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※B(2)ｲ(ｲ)
			態度	○ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第４章　近世の日本

（配当22時間）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
43	p.98～99	■導入の活動 近世の社会の様子をとらえよう	思判表	● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	● 近世の日本では、社会にどのような変化が見られたかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

１節　ヨーロッパ人との出会いと

（配当７時間）
学習指導要領との関連 ： B(3) ア(ｱ)、ｲ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
44	p.100～101	1 ヨーロッパ世界の変化	知技	● ルネサンスと宗教改革によりヨーロッパ世界が変化したことを理解している。
			思判表	● ヨーロッパ世界の変化を、前の時代の文化と違いや、ヨーロッパ外にまで活動していったことに着目して考察し、表現している。
45	p.102～103	2 ヨーロッパ世界の拡大	知技	● ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。
			思判表	● ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。
46	p.104～105	3 ヨーロッパ人との出会い	知技	● ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。
			思判表	● ヨーロッパ人との出会いによる日本社会の変化を、鉄砲やキリスト教と関連付けて考察し、表現している。
47	p.106		知技	● 織田信長と豊臣秀吉によりどのように統一事業を進め、戦乱を終わらせたのかを理解している。

48	p.106～107	4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業	思判表	● 織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。
			思判表	● 織田信長や豊臣秀吉がどのように戦乱を終わらせたのかを、信長の経済政策や軍事行動と関連付けて考察し、表現している。
49	p.108～109	5 兵農分離と秀吉の対外政策	知技	● 秀吉の政策が身分制を基にした近世の基盤を作ったことを理解している。
			思判表	● 兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。
50	p.110～111	6 桃山文化	知技	● ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。
			思判表	● 桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。
	p.140	■探究のステップ	知技	○ 戦乱の世が終わった理由を理解している。
			思判表	○ 戦乱の世が終わった理由について、ヨーロッパ人との出会いとその影響、信長・秀吉の政策を関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2節　江戸幕府の成立と対外政策

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： B(3) 7(イ)、イ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
51	p.112～113	1 江戸幕府の成立と支配の仕組み	知技	● 様々な工夫により幕府が全国を支配していたことを理解している。
			思判表	● 幕府の支配方法の特徴を、大名配置や武家諸法度、朝廷・寺社との関係などに着目して考察し、表現している。
52	p.114～115	2 貿易の振興から「鎖国」へ	知技	● 幕府の対外政策が貿易の振興から「鎖国」へと転換したことを理解している。
			思判表	● 江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、貿易やキリスト教との関係や島原・天草一揆などを関連付けて考察し、表現している。
53	p.116～117	3 江戸時代の対外関係	知技	● 江戸時代の日本が様々な制限をかけながら世界の国々と交流があったことを理解している。
			思判表	● 幕府がどのような交流を行っていたかを、オランダ、中国、朝鮮各国にどのような措置をとって交流していたかに着目して考察し、表現している。
54	p.118～119	4 琉球王国やアイヌ民族との関係	知技	● 幕府が琉球王国・アイヌ民族に対し、支配的な関係にあったことを理解している。
			思判表	● 幕府の琉球王国・アイヌ民族との関係を、琉球使節の在り方やアイヌの人々の暮動などに着目して考察し、表現している。
-	p.120～121	[もっと知りたい！] アイヌ文化とその継承	知技	● 日本の文化が、アイヌの文化も含めた多様なものであることを理解している。
			思判表	●日本の文化の多様性を、アイヌ文化の特徴や、文化の継承に着目して考察し、表現している。
55	p.122～123	5 さまざまな身分と暮らし	知技	● 江戸幕府がどのように庶民を支配していたかを理解している。
			思判表	● 江戸幕府の庶民支配の方法を、身分による区分や役割を明確にしたことに着目して考察し、表現している。
	p.141	■探究のステップ	知技	○ 江戸時代が約260年続いた理由を理解している。
			思判表	○ 江戸時代が約260年続いた理由を、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節　産業の発達と幕府政治の

（配当９時間）
学習指導要領との関連 ： B(3) 7(ｳ)(ｴ)、イ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
56	p.124～125	1 農業や諸産業の発展	知技	● 江戸時代に農業や鉱工業といった諸産業が発展したことを理解している。
			思判表	● 江戸時代の産業の発展の理由を、新田開発や漁業の発展など各産業における生産量の増加に着目して考察し、表現している。
57	p.126～127	2 都市の繁栄と交通路の整備	知技	● 産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。
			思判表	● 江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現している。
58	p.128～129	3 幕府政治の安定と元禄文化	知技	● 元禄時代の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことや上方で町人を中心とした文化が発展したことを理解している。
			思判表	● 元禄時代の政治や文化の特色を、儒学の広まりや、産業の発達、庶民の成長と関連付けて考察し、表現している。
59	p.130～131	4 享保の改革と社会の変化	知技	● 享保の改革の時期に農村の構造変化が起き、幕府や藩が財政難で苦しんだことを理解している。
			思判表	● 社会の変化を、幕府の財政難対策や百姓一揆の増加などと関連付けて考察し、表現している。
60	p.132～133	5 田沼意次の政治と寛政の改革	知技	● 田沼意次と松平定信の政治の特色を理解している。
			思判表	● 田沼意次と松平定信の政治の特色を、二人の経済政策の違い、外国の接近などの状況の比較を通して考察し、表現している。
61	p.134～135	6 新しい学問と化政文化	知技	● 18世紀–19世紀前半の日本では蘭学による文化の成長や、江戸の町人を中心とした文化が発展したことを理解している。
			思判表	● 18世紀–19世紀前半の日本の学問や文化の特色を、学問や文化の発達とそれを生んだ庶民の活躍に着目して考察し、表現している。
62	p.136～137	7 外国船の出現と天保の改革	知技	● 幕府や諸藩が財政問題や対外問題などに様々な対応をしていったことを理解している。
			思判表	● 幕府や諸藩の動向を、ききんや財政状況、外国の接近や反乱と関連付けて考察し、表現している。
	p.141	■探究のステップ	知技	○ 幕府が改革を迫られた背景を理解している。
			思判表	○ 幕府が改革を迫られた背景を、社会の変化や外国の接近などと関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
63 64	p.140～143	■まとめの活動	知技	○ 近世の主な人物や歴史的事象とそれらの関連を捉え、近世が安定した理由を理解している。
			思判表	○ 近世がどのように安定したかを多面的・多角的に考察し、表現している。
			思判表	○ 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※B(3)イ(イ)
			態度	○ 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第５章　開国と近代日本の歩み

（配当27時間）

1節　欧米における近代化の進展

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： C(1) 7(7)、イ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
66	p.146～147	1 イギリスとアメリカの革命	知技	● イギリスとアメリカが革命を経て近代国家を形成していった過程と、イギリスの議会政治が現代社会の議会制度の基となっていることを理解している。
			思判表	● イギリスとアメリカの政治体制の変化を、革命とそれを支えた思想、その後の政治体制と現代の政治とのつながりを関連付けて考察し、表現している。
67	p.148～149	2 フランス革命	知技	● フランスが革命を経て近代国家を形成していった過程と、人権宣言が現代社会の基本的人権の基となっていることを理解している。
			思判表	● フランスの政治体制の変化を、革命の成果と現代の政治とのつながりに着目して考察し、表現している。
68	p.150～151	3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり	知技	● ヨーロッパで国民国家が形成され、近代国家としてのまとまりをつくっていったことを理解している。
			思判表	● ヨーロッパ各国の社会変化を、国民の登場と、各国の近代的な政策とを関連付けて考察し、表現している。
69	p.152～153	4 ロシアとアメリカの拡大と発展	知技	● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展して大国となっていく過程を理解している。
			思判表	● ロシアとアメリカ合衆国が拡大・発展する過程を、貧富の差や先住民の問題、人種問題などと関連付けて考察し、表現している。
70	p.154～155	5 産業革命と資本主義	知技	● 産業革命による変化と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。
			思判表	● 産業革命が欧米諸国に与えた影響を労働問題や社会主義と関連付けて考察し、表現している。
	p.198	■探究のステップ	知技	○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を理解している。
			思判表	○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を、市民革命や産業革命と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2節　欧米の進出と日本の開国

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ： C(1) 7(7)(ｲ)、イ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
71	p.156～157	1 欧米のアジア侵略	知技	● 欧米諸国がアジアに進出し、武力により植民地支配を始めたことを理解している。
			思判表	● 欧米諸国のアジア進出の過程を、アジア諸国の抵抗運動と関連付けて考察し、表現している。
72	p158～159	2 開国と不平等条約	知技	● 幕府が国内に様々な意見がある中、欧米諸国と条約を結び、開国したことを理解している。
			思判表	● 幕府が結んだ欧米との外交関係を、条約の内容などに着目して考察し、表現している。
73	p.160～161	3 開国後の政治と経済	知技	● 開国後の日本が政治的にも経済的にも混乱したことを理解している。
			思判表	● 開国が日本に与えた影響を、大老暗殺など国内の混乱や、物価の上昇などと関連付けて考察し、表現している。
74	p.162～163	4 江戸幕府の滅亡	知技	● 大政奉還が行われ、江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な経緯を理解している。
			思判表	● 江戸幕府の滅亡を、雄藩の動きと開国による生活の変化に着目して考察し、表現している。
	p.198	■探究のステップ	知技	○ 江戸幕府が滅んだ理由を理解している。
			思判表	○ 江戸幕府が滅んだ理由を、欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応、民衆の生活と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節　明治維新

（配当９時間）
学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｲ)(ｳ)、イ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
75	p.166～167	1 新政府の成立	知技	● 新政府により、中央集権国家の体制が確立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。
			思判表	● 明治維新によって生じた社会変化について、廃藩置県や身分制度の廃止と関連付けて考察し、表現している。
76 77	p168～169	2 明治維新の三大改革	知技	● 学制・兵制・税制の改革により、人々が国民としての負担を受ける生活となったことを理解している。
			思判表	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、教育、兵役、税に着目して、江戸時代の制度と比較しながら考察し、表現している。
78	p.170～	3 富国強兵と文明開化	知技	● 政府による富国強兵・殖産興業政策により、近代的な産業の発展や文化の欧米化が進んだことを理解している。

	171	3 富国強兵と殖産興業	思判表	● 富国強兵・殖産興業政策による変化を、産業の発展や欧米文化の広まりに着目し、江戸時代と比較をして考察し、表現している。
79	p.172～173	4 近代的な国際関係	知技	● 明治政府が欧米諸国とは平等な関係を、アジア諸国とは欧米諸国のような条約による外交関係を結ぼうとしていたことを理解している。
			思判表	● 明治政府が行った外交政策について、欧米諸国との関わり方や、アジア諸国との間で結ばれた条約とその内容から考察し、表現している。
80	p.174～175	5 国境と領土の確定	知技	● 明治政府が近隣諸国との関係の中で自国の範囲を確定し、近代的な国際関係をつくろうとしたことを理解する。
			思判表	● 明治政府の行った国境・領土の確定について、北海道とロシア、沖縄と中国の関係に着目して考察し、表現している。
81	p.176～177	6 領土をめぐる問題の背景	知技	● 竹島、北方領土、尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解を理解している。
			思判表	● これらの島の領有に関する各国の主張も踏まえ、我が国の固有の領土である背景を考察し、表現している。
82	p.178～179	7 自由民権運動の高まり	知技	● 自由民権運動が一部の権力者だけではなく、国会をつくり幅広く人々が政治参加できることを求めていたことを理解している。
			思判表	● 自由民権運動が求めていた社会について、藩閥政府への不満や様々な権利を求めた憲法草案の内容を関連付けて考察し、表現している。
83	p.180～181	8 立憲制国家の成立	知技	● 憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などを理解している。
			知技	● 大日本帝国憲法が立憲制国家成立のために制定され、憲法に基づいて政治が行われるという現代とのつながりを理解している。
			思判表	● 大日本帝国憲法の制定過程とその内容を踏まえ、その特色と現代とのつながりについて考察し、表現している。
	p.199	■探究のステップ	知技	○ 日本が明治維新を通じて国内の改革に成功し、植民地化されることなく近代化したことを理解している。
			思判表	○ 日本がほかのアジア諸国に先駆けて、近代化に成功した理由を、欧米諸国との関係や国内の改革や国民生活の変化と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4節　日清・日露戦争と近代産業

（配当８時間）

学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｳ)(ｴ)、ｲ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
84	p.184～185	1 欧米列強の侵略と条約改正	知技	● 日本が近代化を進めていったことで欧米に認められ条約改正できたことを理解している。
			思判表	● 日本が条約改正できた経緯を、日本の近代化の推移に着目して考察し、表現している。
85	p186～187	2 日清戦争	知技	● 日清戦争が東アジア全体の動きの中で起き、その後の国際関係を形作ったことを理解している。
			思判表	● 日清戦争の背景と影響を、ロシアや朝鮮などの国々の動向と関連付けて考察し、表現する。
86	p.188～189	3 日露戦争	知技	● 日露戦争が国際社会の動向と関連して起きたことや、その後の国際社会における日本の動向に影響を与えたことを理解している。
			思判表	● 日露戦争の背景と影響を、中国や朝鮮の状況やイギリスの動き、日本の国際的な地位向上と関連付けて考察し、表現している。
87	p.190～191	4 韓国と中国	知技	● 韓国の植民地化と中華民国が建国されたことを理解している。
			思判表	● 韓国や中国での政治変化について、日本の植民地化や辛亥革命に着目して考察し、表現している。
88	p.192～193	5 産業革命の進展	知技	● 近代産業が発展して資本主義の基礎が固まった一方で様々な社会問題が生じたことを理解している。
			思判表	● 明治時代の産業と人々の生活の変化を、発展を可能にした背景や発展の裏側で生じた国民の負担と関連付けて考察し、表現している。
89	p.194～195	6 近代文化の形成	知技	● 明治時代に近代文化が形成され、学問・教育・科学・芸術などの分野で発展したことを理解している。
			思判表	● 明治時代に形成された近代文化の特色を、伝統的な文化や欧米文化と関連付けて考察し、表現している。
	p.199	■探究のステップ	知技	○ 日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を理解している。
			思判表	○ 日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を、欧米諸国のアジア進出と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
-	p.196	[もっと知りたい！] メディアの発達が日本を変えた	知技	● 電信・電話、新聞・雑誌、映画・ラジオの始まりと役割を理解している。
			思判表	● 資料の読み取りから、現代につながるマスメディアや情報環境を考察し、表現している。
-	p.197	[もっと知りたい！] 世界を大きく変えてきた感染症	知技	● 感染症が様々なかたちで社会に影響を与えてきたことを理解している。
			思判表	● 感染症の拡大と、戦争や徴兵制など社会制度の変化とを関連付けて考察し、表現している。
90 91	p.198～201	■まとめの活動	知技	○ 明治時代の主な歴史的事象を理解している。
			思判表	○ 日本と世界との結び付きから明治時代の近代化による日本の変化を考察し、コンセプトマップで表現している。
			思判表	○ 近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※C(1)ｲ(ｲ)
			態度	○ 近代（前半）の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
主な評価材料			知技、思判表	行動観察、プリント、ペーパーテスト、提出物の内容
			態度	家庭学習、行動観察、プリント、提出物の内容

【３年　歴史的分野】　４節　日清・日露戦争と近代産業

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準	
84	p.184～185	1 欧米列強の侵略と条約改正	知技	● 日本が近代化を進めていったことで欧米に認められ条約改正できたことを理解している。
			思判表	● 日本が条約改正できた経緯を、日本の近代化の推移に着目して考察し、表現している。
85	p186～187	2 日清戦争	知技	● 日清戦争が東アジア全体の動きの中で起き、その後の国際関係を形作ったことを理解している。
			思判表	● 日清戦争の背景と影響を、ロシアや朝鮮などの国々の動向と関連付けて考察し、表現する。
86	p.188～189	3 日露戦争	知技	● 日露戦争が国際社会の動向と関連して起きたことや、その後の国際社会における日本の動向に影響を与えたことを理解している。
			思判表	● 日露戦争の背景と影響を、中国や朝鮮の状況やイギリスの動き、日本の国際的な地位向上と関連付けて考察し、表現している。
87	p.190～191	4 韓国と中国	知技	● 韓国の植民地化と中華民国が建国されたことを理解している。
			思判表	● 韓国や中国での政治変化について、日本の植民地化や辛亥革命に着目して考察し、表現している。
88	p.192～193	5 産業革命の進展	知技	● 近代産業が発展して資本主義の基礎が固まった一方で様々な社会問題が生じたことを理解している。
			思判表	● 明治時代の産業と人々の生活の変化を、発展を可能にした背景や発展の裏側で生じた国民の負担と関連付けて考察し、表現している。
89	p.194～195	6 近代文化の形成	知技	● 明治時代に近代文化が形成され、学問・教育・科学・芸術などの分野で発展したことを理解している。
			思判表	● 明治時代に形成された近代文化の特色を、伝統的な文化や欧米文化と関連付けて考察し、表現している。
	p.199	■探究のステップ	知技	○ 日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を理解している。
			思判表	○ 日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を、欧米諸国のアジア進出と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
-	p.196	[もっと知りたい！] メディアの発達が日本を変えた	知技	● 電信・電話、新聞・雑誌、映画・ラジオの始まりと役割を理解している。
			思判表	● 資料の読み取りから、現代につながるマスメディアや情報環境を考察し、表現している。
-	p.197	[もっと知りたい！] 世界を大きく変えてきた感染症	知技	● 感染症が様々なかたちで社会に影響を与えてきたことを理解している。
			思判表	● 感染症の拡大と、戦争や徴兵制など社会制度の変化とを関連付けて考察し、表現している。
90 91	p.198～201	■まとめの活動	知技	○ 明治時代の主な歴史的事象を理解している。
			思判表	○ 日本と世界との結び付きから明治時代の近代化による日本の変化を考察し、コンセプトマップで表現している。
			思判表	○ 近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※C(1)ｲ(ｲ)
			態度	○ 近代（前半）の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第６章　二度の世界大戦と日本

（配当19時間）

１節　第一次世界大戦と日本

（配当４時間）

学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｴ)、ｲ(ｱ)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
93	p.204～205	1 第一次世界大戦	知技	● 第一次世界大戦が列強間の対立から拡大したこと、日本が日英同盟を理由に参戦したことを理解している。
			思判表	● 第一次世界大戦の拡大や日本の参戦理由を、列強や日本の拡大政策と関連付けて考察し、表現している。
94	p.206～207	2 ロシア革命	知技	● ロシア革命により社会主義国家が誕生し、各国はそれを阻止しようとしたことを理解している。
			思判表	● ロシア革命と世界の対応を、大戦の影響や国民への影響、各国の政治体制に着目して考察し、表現している。
95	p.208～209	3 国際協調の高まり	知技	● 第一次世界大戦後はベルサイユ条約に基づき、国際協調が進んだことを理解している。
			思判表	● 第一次世界大戦後の国際関係について、民族自決やアメリカの動向、民主主義の広まりと関連付けて考察し、表現している。
96	p.210～211	4 アジアの民族運動	知技	● 第一次世界大戦後、アジア各国で独立運動や反帝国主義運動が起きたことを理解している。
			思判表	● 第一次世界大戦後のアジアの動向を、民族自決や日本の植民地拡大などと関連付けて考察し、表現している。
	p.240	■探究のステップ	知技	○ 第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。
			思判表	○ 第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、列強の拡大政策や国民生活への影響などと関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

２節　大正デモクラシーの時代

（配当３時間）

2節　大正デモクラシーの時代

学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｲ)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
97	p.212～213	1 大正デモクラシーと政党内閣の成立	知技	● 大正時代には大正デモクラシーという国民の政治参加への意識が高まったことを理解している。
			思判表	● 大正時代の社会や政治の特色について、戦争の影響や国民の意識の変化と関連付けて考察し、表現している。
98	p.214～215	2 広がる社会運動と男子普通選挙の実現	知技	● デモクラシーの風潮が高まり、社会運動が活発になり、普通選挙法が成立したことを理解している。
			思判表	● デモクラシーの風潮の高まりについて、国民の不満から起きる社会運動や普通選挙を求める運動と関連付けて考察し、表現している。
99	p.216～217	3 新しい文化と生活	知技	● 大正時代にはメディアが発展し、文化が大衆化したり欧米風の生活様式が広まったりしたことを理解している。
			思判表	● 大正時代から昭和初期の文化の特色を、教育が広まったこと、経済の発展と都市での文化の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。
	p.240	■探究のステップ	知技	○ 大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を理解している。
			思判表	○ 大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を、明治時代からの国民への負担や国際情勢と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
-	p.218～219	[もっと知りたい！] 「解放令」から水平社へ	知技	● 水平社は、自由と平等を求め、「解放令」後も続く差別からの解放を求めて設立されたことを理解している。
			思判表	●水平社設立の背景を、「解放令」後の状況や人々の生活の困窮と関連付けて考察し、表現している。

3節　世界恐慌と日本の中国侵略

（配当５時間）

学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｶ)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
100	p.220～221	1 世界恐慌と各国の対策	知技	● 世界恐慌による各国の対応によって国際協調の流れが途絶えたことを理解している。
			思判表	● 世界恐慌の影響について、恐慌の原因や各国の対応と関連付けて考察し、表現している。
101	p.222～223	2 欧米の情勢とファシズム	知技	● ドイツやイタリアでは第一次世界大戦や世界恐慌後の不況や政治混乱からファシズムが台頭したことを理解している。
			思判表	● ファシズムが台頭した理由を、戦争や世界恐慌の影響や国民の不満と関連付けて考察し、表現している。
102	p.224～225	3 昭和恐慌と政党内閣の危機	知技	● 日本の政党政治が、不況や東アジアへの外交の面で国民からの信頼を失っていったことを理解している。
			思判表	● 日本の政党政治の危機を、恐慌や中国情勢への対応と関連付けて考察し、表現している。
103	p.226～227	4 満州事変と軍部の台頭	知技	● 満州事変後の日本では政党政治が終わり、国際的にも孤立したことを理解している。
			思判表	● 満州事変後の日本の政治の変化を、軍部の台頭や国際関係の変化に着目して考察し、表現している。
104	p.228～229	5 日中戦争と戦時体制	知技	● 日本が大陸への進出を強め、日中戦争が発生し、その結果国民生活は戦時体制へ移行していったことを理解している。
			思判表	● 日中戦争への経緯とその影響について、政府と軍部の関係や国民生活への統制に着目して考察し、表現している。
	p.241	■探究のステップ	知技	○ 日本が日中戦争に向かった理由を理解している。
			思判表	○ 日本が日中戦争に向かった理由を、国際的な経済状況と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4節　第二次世界大戦と日本

（配当６時間）

学習指導要領との関連 ： C(1) 7(ｶ)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
105	p.230～231	1 第二次世界大戦の始まり	知技	● ドイツの侵略により第二次世界大戦が始まり、各国の参戦で拡大したことを理解している。
			思判表	● 第二次世界大戦が起き、拡大した理由を、ドイツの動向やファシズムとの戦いに着目して考察し、表現している。
106	p.232～233	2 太平洋戦争の開始	知技	● 日中戦争が長期化する中、日米関係が悪化して太平洋戦争が始まったことを理解している。
			思判表	● 太平洋戦争が始まった理由を、日中戦争の長期化やアメリカとの関係と関連付けて考察し、表現している。
107	p.234～235	3 戦時下の人々	知技	● 戦争の長期化により国民生活が苦しくなっていく中で戦争に協力していったことを理解している。
			思判表	● 戦争の国民への影響について、国内の戦争協力や植民地等での強制動員などに着目して考察し、表現している。
108	p.236～237	4 戦争の終結	知技	● アメリカを中心とした連合軍により枢軸国も日本も多大な犠牲を出し戦争が終結したことを理解している。
			思判表	● 第二次世界大戦終結の経過を、ドイツの降伏、沖縄戦や原爆投下などに着目して考察し、表現している。
	p.241	■探究のステップ	知技	○ 第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。
			思判表	○ 第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
109 110	p.240～243	■まとめの活動	知技	○ 日本がどのように戦争に向かっていったかについて理解している。
			思判表	○ 主に大正時代から昭和時代の特色を、前の時代の出来事や現代と関連付けて考察し、表現している。
			思判表	○ 近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※C(1)ｲ(ｲ)
			態度	○ 近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第７章　現代の日本と私たち

（配当14時間）

1節　戦後日本の出発

（配当２時間）

学習指導要領との関連 ： C(2) 7(7)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
112	p.246～247	1 占領下の日本	知技	● 終戦後の日本国民が苦難の生活を送る中で、GHQが非軍事化などの新しい日本につながる占領政策を進めたことを理解している。
			思判表	● 終戦後の日本の様子について、GHQによる占領政策や、闇市など国民生活に着目して考察し、表現している。
113	p.248～249	2 民主化と日本国憲法	知技	● 新しい憲法の制定で人権が保障された民主的な国家が建設されたことを理解している。
			思判表	● 新しい憲法の制定による日本の変化を、大日本帝国憲法との比較から考察し、表現している。
	p.270	■探究のステップ	知技	○ GHQの占領政策の影響や戦前の反省から、民主的な国家が建設されたことを理解している。
			思判表	○ 日本国憲法の制定などによって、国民主権、人権の保障などの面で民主的な国家になったことを考察し、表現している。
			態度	● 日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2節　冷戦と日本の発展

（配当５時間）

学習指導要領との関連 ： C(2) 7(7)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
114	p.250～251	1 冷戦の開始と植民地の解放	知技	● 資本主義と共産主義が対立する中で冷戦が発生し、国家の分裂や、植民地支配の終結など、新たな国際体制が生まれたことを理解している。
			思判表	● 冷戦という新たな国際体制の成立と影響を、アメリカとソ連の動向や中国・朝鮮の動向に着目して考察し、表現している。
115	p.252～253	2 独立の回復と55年体制	知技	● 冷戦によってアメリカの占領方針が転換し、日本が資本主義国の一員として国際社会に復帰し、アメリカとの関係を重視した安定政権が生まれたことを理解している。
			思判表	● 日本の国際社会への復帰を、冷戦の進展とアメリカの意向と関連付けて考察し、表現している。
116	p.254～255	3 緊張緩和と日本外交	知技	● 沖縄の日本復帰や日本の東側諸国との外交の広がりが緊張緩和の中で行われたことを理解している。
			思判表	● 日本の外交の広がりと緊張緩和の流れについて時系列に着目しながら関連付けて考察し、表現している。
117	p.256～257	4 日本の高度経済成長	知技	● 経済成長と技術の向上によって、国民が豊かな生活を送れるようになった一方で、公害等の問題が発生したことを理解している。
			思判表	● 日本の経済成長が国民の生活に与えた変化を、国内外での功績と軋轢に着目しながら考察し、表現している。
118	p.258～259	5 マスメディアと現代の文化	知技	● 現代日本の文化は、マスメディアが社会の発展とともに変化し、国民が同じ内容の情報を持てるようになったことを理解している。
			思判表	● 現代日本の文化の変化を、テレビの普及などメディアの発達や経済成長による生活の向上と関連付けて考察し、表現している。
	p.270	■探究のステップ	知技	○ 冷戦下の日本が経済成長できたことを理解している。
			思判表	○ 冷戦下で日本が経済成長することができた理由について、世界情勢と関連付けて考察し、表現している。
			態度	● 冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節　新たな時代の日本と世界

（配当６時間）

学習指導要領との関連 ： C(2) 7(ｲ)、ｲ(7)

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
119	p.260～261	1 冷戦後の国際社会	知技	● 冷戦が終結し、国際協調による地域統合が進む一方で、国家を超えた紛争が多発していることを理解している。
			思判表	● 冷戦終結後の世界で、国家の枠組みを超えた問題が発生していることに着目して考察し、表現している。
120	p.262～263	2 変化する冷戦後の日本	知技	● 冷戦後の日本の課題が、対外的には他国との歴史的関係の中から、国内的には経済的な好景気の反動により発生していることを理解している。
			思判表	● 冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり、現在でも続いていることを考察し、表現している。
121	p.264～265	3 持続可能な社会の実現に向けて	知技	● 日本には災害や少子高齢化の他にもグローバル化など世界的規模の課題があることを理解している。
			思判表	● 現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現している。
	p.271	■探究のステップ	知技	○ よりよい社会を創っていく上で必要なことを理解している。
			思判表	○ よりよい社会を創っていくために、現代日本の課題とその解決による影響に着目して考察し、表現している。
			態度	● 日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
-	p.266～267	[もっと知りたい！] 日本のエネルギーのこれまで	知技	●明治以降の日本人がさまざまなエネルギーを活用して、生活を向上させてきた一方で、今後のエネルギー利用には課題があることを理解している。
			思判表	●日本人の生活とエネルギーとの関わりを、資源の確保や原発問題、環境問題と関連づけて考察し、表現している。
-	p.268～269	[もっと知りたい！] 震災の記憶を語りつぐ	知技	● 各地に残る震災に関する伝承は、同じ災害が起こり、再び命が失われないために、先人が残したものであるという共通点を理解している。
			思判表	● 震災に関する伝承の意味を、被害の大きさや人々が後世に残そうとした思いと関連づけて考察し、表現している。
122 123	p.270～273	■まとめの活動	知技	○ 戦後の日本がどのように発展してきたか理解している。
			思判表	○ 戦後の日本の発展について、世界の情勢や国際社会における日本の位置付けと関連付けて考察し、表現している。
			思判表	○ 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。　※C(2)ｲ(ｲ)
			態度	○ 現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
124	p.274～275	■歴史のまとめ	知技	○ これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界のあり方について、課題意識をもって、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。　※C(2)ｲ(ｲ)
			知技、思判表	行動観察，プリント，ペーパーテスト、提出物の内容

主な評価材料	態度	家庭学習、行動観察、プリント、提出物の内容

【３年　公民的分野】　第１章　現代社会と私たち

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
2	p.6～7	■導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう	知技	●教科書のイラストや写真から、現代社会の特色を読み取ったり、読み取ったことを、思考ツールを使って分かりやすく分類したり説明したりしている。
			思判表	●現代社会の特色について、対話的な活動を通して考察し、適切に表現している。
			態度	●持続可能な社会の実現に向けて私たちには何ができるかについての考察に、章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。
3	p.8～9	1 持続可能な社会に向けて	知技	●持続可能性とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●持続可能な社会の実現に必要な態度とはどのようなものか、社会参画と関連付けて考察し、表現している。
4	p.10～11	2 グローバル化	知技	●グローバル化とは生活や社会のどのような変化か、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や、課題について考察し、表現している。
5	p.12～13	3 情報化	知技	●情報化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点について理解している。
			思判表	●情報化の進展による課題を挙げ、私たちが解決のためにできることについて考察し、表現している。
-	p.14～15	[もっと知りたい！] 新しい情報技術で社会が変わる	知技	●AIやIoTなどの新しい情報技術が社会を大きく変化させ、現代社会の課題の解決に向けてさまざまな場面で活用されていることを理解している。
			思判表	●新しい情報技術がどのような場面で活用されているか、また、どのようなことを可能にしているのかについて、考察し、表現している。
6	p.16～17	4 少子高齢化	知技	●少子化の原因として考えられることを本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●身近な地域での少子高齢化への対応を調べる活動を基に、高齢者支援と子育て支援について考察し、表現している。
			知技	○１節の学習内容を基に、現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。
			思判表	○１節の学習内容をふり返って、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、グローバル化、少子高齢化、情報化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察、表現している。
			態度	●私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

２節　私たちの生活と文化

（配当３時間）
学習指導要領との関連 ： A（1）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
7	p.18～19	1 私たちの生活と文化の役割	知技	●文化の具体的な内容を、科学、宗教、芸術の分野を例に挙げ、理解している。
			思判表	●科学、宗教、芸術の分野を例に文化の果たす役割について考察し、表現している。
8	p.20～21	2 伝統文化の継承と新たな文化の創造	知技	●身近な地域に見られる伝統文化の具体的な内容について理解している。
			思判表	●伝統文化を継承し、保持するために私たちにできることは何かを考察し、表現している。
9	p.22～23	3 多様な文化の意義	知技	●多文化共生とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●多文化共生の社会を築くために、私たちにできる具体的な取り組みについて考察している。
			知技	○２節の学習内容を基に、現代社会における文化の意義や影響について理解している。
			思判表	○２節の学習内容をふり返って、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察、表現している。
			態度	●文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

３節　現代社会の見方や考え方

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ： A（2）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
10	p.24～25	1 社会集団の中で生きる私たち	知技	●自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解している。
			思判表	●社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を目指すことが重要であることについて考察し、表現している。
10	p.24～25	1 社会集団の中で生きる私たち	知技	●自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解している。
			思判表	●社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を目指すことが重要であることについて考察し、表現している。
11	p.26～27	2 決まりを作る目的と方法	知技	●物事の決定の仕方や決まりの意義について本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●決まりが必要な理由について対立と合意に着目し、社会集団と関連付けて考察し、表現している。
12	p.28～29	3 効率と公正	知技	●効率と公正の意味とその重要性について本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●みんなが納得できる解決策の在り方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察し、表現している。
13	p.30～31	4 決まりの見直し	知技	●必要に応じて決まりを見直す意義について、身の回りでルールが変わった例を通して理解している。
			思判表	●ルールを見直す際の見直し方について対立と合意、効率と公正に着目して考察している。
			知技	○３節の学習内容を基に、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。
			知技	○３節の学習内容を基に、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。
			思判表	○３節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
14	p.32～35	■まとめの活動 第１章の学習をまとめよう ■まとめの活動 T市の新しい公園の使用ルールを考えよう	思判表	○第１章の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
-	p.36	[もっと知りたい！] 伝統文化がつなぐ、過去と現在、人と人、そして世界中の人々との絆	思判表	●日本の無形文化遺産や私たちの生活との関連について具体的な事例を基に理解している。
			態度	●未来に伝えたい日本の文化について根拠を持って説明する学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。

第２章　個人の尊重と日本国憲法

（配当17時間）

１節　人権と日本国憲法

（配当６時間）
学習指導要領との関連 ： C（1）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
15	p.37～39	■章扉 ■導入の活動 ちがいのちがい	知技	●文化や個性の多様性について具体的な事例を整理し、自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。
			思判表	●文化や個性の多様性について対話的な活動を通して個人の尊重に着目して、適切に表現している。
			態度	●日本国憲法が大切にされてきた理由についての考察に向けて、章の学習に見通しを持って取り組もうとしている。
16	p.40～41	1 人権の歴史と憲法	知技	●人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ、人権と憲法の関係から法の支配について理解している。
			思判表	●人権と憲法にはどのような関係があるかについて、人権思想と憲法の歴史と関連させて考察している。
17	p.42～43	2 日本国憲法とは	知技	●日本国憲法の三つの基本原理について、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●日本国憲法の仕組みの特色を、大日本帝国憲法との違いに着目して適切に表現している。
18	p.44～45	3 国民主権と私たちの責任	知技	●国民主権とは、どのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●国民主権が重要な理由を、学習した内容を活用し、法の支配に着目して適切に表現している。
19	p.46～47	4 平和主義の意義と日本の役割	知技	●日本が平和主義を掲げる理由について本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●国際平和のために日本が果たす役割について、自衛隊の活動や、被爆国としての日本の立場を踏まえて、適切に表現している。
20	p.48～49	5 基本的人権と個人の尊重	知技	●個人の尊重とはどのようなことを意味しているか理解している。
			思判表	●基本的人権の保障に必要なことを、法の下の平等に着目して考察している。
			知技	○１節の学習内容を基に、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることや、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。
			思判表	○１節の学習内容をふり返って、基本的人権の保障に必要なことを、個人の尊重や法の下の平等と関連付けて、適切に表現している。
			態度	●具体的な事例を基に、日本国憲法が大切にされてきた理由を、自らの学習をふり返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。

２節　人権と共生社会

（配当7時間）
学習指導要領との関連 ： C（1）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
21	p.50～51	1 平等権① 共生社会を目指して	知技	●現在も日本に残っている差別の例を本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●差別をなくすために重要なことを、個人の尊重の観点から考察し、表現している。
22	p.52～53	2 平等権② 共生社会を目指して	知技	●インクルージョンの実現とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●共生社会の実現のために必要なことを平等権の学習全体を通して考察し、表現している。
23	p.54～55	3 自由権 自由に生きる権利	知技	●自由権にはどのような種類があるか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●自由権が保障されることが重要な理由を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。
24	p.56～57	4 社会権 豊かに生きる権利	知技	●社会権にはどのような種類があるか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●社会権が保障された理由を、自由権（経済活動の自由）との関係から考察し、表現している。
25	p.58～59	5 人権を確実に保障するための権利	知技	●参政権や請求権にはどのような種類があるか、本文の読み取りを通して理解している。

[illegible]	[illegible]	[illegible]	思判表	●参政権や請求権が人権の保障にとって重要な理由を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。
26	p.60～61	[18歳へのステップ] 18歳でできること、20歳でできること	知技	●法律上の「成人」の意味や、18歳でできること、20歳でできることについて資料を通して理解している。
			態度	●18歳でできること、20歳でできることについて調べることを通して、主体的に社会に参加しようとしている。
27	p.62～63	6 「公共の福祉」と国民の義務	知技	●自由や権利の限界、制限されている例を本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●国民の義務と日本国憲法の関係について考察している。
			知技	○２節の学習内容を基に、人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。
			思判表	○２節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。
			態度	●憲法の人権保障によって、だれのどのような権利が守られているかについて、具体的な事例を基に、自らの学習をふり返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。

３節　これからの人権保障

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ： C（1）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
28	p.64～65	1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人間	知技	●環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について、理解している。
			思判表	●新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、その関係について、適切に表現している。
29	p.66～67	2 新しい人権② 情報化の進展と人権	知技	●情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解している。
			思判表	●インターネットの発達など、情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現している。
30	p.68～69	3 グローバル社会と人権	知技	●人権保障のためにさまざまな条約があることを理解している。
			思判表	●人権上の課題の解決に取り組む組織と、担っている役割について考察している。
			知技	○３節の学習内容を基に、社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中で、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。
			思判表	○３節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。
			態度	●具体的な事例を基に、新しい人権が認められてきた理由の考察に自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
31	p.70～73	■まとめの活動 第２章の学習をまとめよう ■まとめの活動 ちがいのちがいを追究しよう	思判表	○第２章の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	○日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちはどのように社会に関わるべきか自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
-	p.74～75	[もっと知りたい！] 先住民族としてのアイヌ民族	思判表	●アイヌ民族をめぐる問題の事例を基に、国内の人権上のさまざまな課題を国際的な動きと関連付けて考察し、適切に表現している。
			思判表	●アイヌ民族に対する政策の問題点を挙げ、問題点の解決に向けどのようにすればよいか、公正の観点から考察し、適切に表現している。
-	p.76	[もっと知りたい！] だれもが暮らしやすい共生社会に	思判表	●障がいのある人や多様な性の意識への配慮がなされる社会を築くためにどのようにすればよいか、個人の尊重の観点から考察し、適切に表現している。
			態度	●第２章の学習をふり返りながら、障がいのある人やさまざまな性の意識を持つ人が生きやすい社会を創るために主体的に社会に参画しようとしている。

第３章　現代の民主政治と社会

（配当23時間）

１節　現代の民主政治

（配当７時間）
学習指導要領との関連 ： C（2）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
32	p.77～79	■章扉 ■導入の活動 だれを市長に選ぶ？	知技	●架空の市長選挙の公約について整理し、自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。
			思判表	●架空の市長選挙の公約について対話的な活動を通して個人の尊重に着目して、適切に表現している。
			態度	●民主主義に基づく政治についての考察に、章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。
33	p.80～81	1 政治と民主主義	知技	●民主政治における物事の決定の仕組みについて理解している。
			思判表	●民主主義で物事を決める際に必要とされることや、私たちに求められていることについて考察し、適切に表現している。
34	p.82～83	2 選挙の意義と仕組み	知技	●選挙がなぜ大切であるかについて理解している。
			思判表	●選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現している。
35	p.84～85	3 政党の役割	知技	●日本で行われている政党政治の特徴を、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●国民と政党の関係について、民主主義に着目して考察し、表現している。
36	p.86～87	4 マスメディアと世論	知技	●マスメディアの役割と政治に与える影響について理解している。
			思判表	●私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現している。
37	p.88～89	5 選挙の課題と私たちの政治参加	知技	●私たちができる政治参加の方法を理解している。
			思判表	●選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか、政治参加に着目して考察し、表現している。
			知技	○１節の学習内容を基に、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。
			思判表	○１節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
38	p.90～91	[18歳へのステップ] 選挙の流れ	知技	●実際の選挙がどのように行われているのか、資料を通して一連の流れを理解している。
			態度	●具体的な選挙の手続きを調べることを通して、主体的に政治に参加しようとしている。

２節　国の政治の仕組み

（配当10時間）
学習指導要領との関連 ： C（2）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
39	p.92～93	1 国会の地位と仕組み	知技	●衆議院と参議院の違いについて、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現している。
40	p.94～95	2 国会の主な仕事① 法律の制定と予算の議決	知技	●国会の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●「衆議院の優越」が定められている理由について、効率と公正に着目して考察し、表現している。
41	p.96～97	3 国会の仕事② 行政の監視	知技	●国会が行政権との関係の中で担っている役割について本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●私たちと国会との関係について、考察し、表現している。
42	p.98～99	4 行政の仕組みと内閣	知技	●内閣の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現している。
43	p.100～101	5 行政の役割と行政改革	知技	●行政における内閣の役割について理解している。
			思判表	●行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現している。
44	p.102～103	6 裁判所の仕組みと働き	知技	●裁判所の種類と、それぞれが行っている裁判について本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。
45	p.104～105	7 裁判の種類と人権	知技	●裁判において、被疑者以外に裁判に出席する人と、それぞれの役割について、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●裁判によって守られている人権について、２章の学習をふり返りながら考察し、表現している。
46	p.106～107	8 私たちの司法と裁判員制度	知技	●裁判員が、裁判官とともに担当する役割を、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。
47	p.108～109	［みんなでチャレンジ］ 模擬裁判をやってみよう	思判表	●資料を的確に読み取って必要な情報を取り出したり、争点を整理したりして、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
			態度	●主権者として、裁判員制度への参加を通して主体的に社会に関わろうとしている。
48	p.110～111	9 三権の抑制と均衡	知技	●三権がたがいに抑制し合っている内容について本文や資料の読み取りから理解している。
			思判表	●三権分立が採られている理由について、人権の観点から考察している。
			知技	○２節の学習内容を基に、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について、また、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。
			思判表	○２節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して国の政治の在り方について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●国の政治の在り方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

３節　地方自治と私たち

（配当６時間）
学習指導要領との関連 ： C（2）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
49	p.112～113	1 地方自治の考え方と役割	知技	●地方公共団体の役割について理解している。
			思判表	●地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について、地方自治の原則に着目して考察し、表現している。
50	p.114～115	2 地方自治の仕組み	知技	●地方議会や首長が果たしている役割について、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現している。
51	p.116～117	3 地方公共団体の課題	知技	●地方公共団体の財政を支える収入について、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●自分が住む地方公共団体の課題を調べ、解決のために自分にできることを考察、構想し、表現している。
52	p.118～119	4 住民参加の拡大と私たち	知技	●住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解している。
			思判表	●住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされるべきか考察している。
			知技	○３節の学習内容を基に、地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。
			思判表	○３節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治の課題とその解決策について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

53	p.120～121	[みんなでチャレンジ] 政治参加をしてみよう	思判表	●地域住民の一人として、地域の政治や課題について積極的に調べ、解決策を提案している。
			態度	●地域の課題の考察に自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、地域の担い手として主体的に社会に関わろうとしている。
54	p.122～125	■まとめの活動 第３章の学習をまとめよう ■まとめの活動	思判表	○第３章の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治や国の政治の在り方、地方自治の課題とその解決策について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
			態度	○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
-	p.126～127	[もっと知りたい！] 東日本大震災からの復興と防災 一仙台市を例に考える	思判表	●防災や減災を踏まえたまちづくりの実現を目指して、解決すべき課題を探究し、自分たちにできることは何か考察している。
			態度	●東日本大震災からの復興と防災対策に関心を持ち、その実現のために各地方公共団体が行っている取り組みや課題について調べることを通して、主体的に社会に関わろうとしている。
-	p.128	[もっと知りたい！] 空き家・廃校は新たな資源	知技	●空き家や廃校の増加という実社会における課題を理解している。
			思判表	●空き家や廃校の増加という実社会における課題の解決策を効率と公正などに着目して考察している。
			態度	●空き家や廃校の増加という実社会における課題の考察を通して、主体的に社会に関わろうとしている。

第４章　私たちの暮らしと経済

（配当24時間）

１節　消費生活と経済

（配当６時間）
学習指導要領との関連 ：Ｂ（１）（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
55	p.129～131	■章扉 ■導入の活動 コンビニエンスストアの経営者になってみよう	知技	●コンビニエンスストアの立地について具体的な事例を整理し、自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。
			思判表	●コンビニエンスストアの立地について、経営者や消費者、労働者の立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
			態度	●コンビニエンスストアの立地について考える活動を通して、私たちと経済との関わりについての考察に向けて、章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。
56	p.132～133	１ 私たちの消費生活	知技	●私たちが日常生活の中でしている消費活動について理解している。
			思判表	●より良い消費生活を送るために必要なことについて考察、表現して、いる。
57	p.134～135	２ 契約と消費生活	知技	●消費者主権とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●契約を結ぶ際に注意すべき点について、自由や義務に着目して考察し、表現している。
58	p.136～137	３ 消費者の権利を守るために	知技	●消費者の権利を守るための制度や法律について、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●自立した消費者であるためにはどうすべきか、判断や責任に着目して考察し、表現している。
59	p.138～139	[18歳へのステップ] 契約と支払い方法のあれこれ	思判表	●身近な消費生活にある契約の事例を基に、これまでの学習をふり返りながら消費者の在り方を多面的・多角的に考察している。
			態度	●消費者の一人として、契約を結ぶ際の注意点に関心を持ち、より良い消費生活に向けて主体的に社会に関わろうとしている。
60	p.140～141	４ 消費生活を支える流通	知技	●身近な地域にある、流通に関連した仕事について理解している。
			思判表	●流通の合理化がもたらす影響について考察している。
			知技	○１節の学習内容を基に、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。
			思判表	○１節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、消費生活や流通に関するさまざまな事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

２節　生産と労働

（配当５時間）
学習指導要領との関連 ：Ｂ（１）（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
61	p.142～143	１ 生産活動と企業	知技	●私たちが日常生活の中で消費している財やサービスについて調べ、まとめている。
			思判表	●身近にある財やサービスの生産における分業と交換の良い点を、効率の観点から考察し、表現している。
62	p.144～145	２ 企業の種類	知技	●情報を適切に収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な地域にあるさまざまな企業について調べ、まとめている。
			思判表	●起業する場合どのような企業を創るのが良いか、企業の社会的責任に着目して考察し、表現している。
63	p.146～147	３ 株式会社の仕組み	知技	●株式とはどのようなものか理解している。
			思判表	●株主の権利や責任について、配当や投資と関連付けて考察し、表現している。
64	p.148～149	４ 労働の意義と労働者の権利	知技	●労働者の権利について、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●多様な働き方が求められている背景を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。
65	p.150～151	５ 労働環境の変化と課題	知技	●正規労働者と非正規労働者の違いについて理解している。
			思判表	●労働環境の課題を解決し、いきいきと働ける社会の実現に向けて考察し、表現している。
			知技	○２節の学習内容を基に、現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。
			思判表	○２節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

３節　市場経済の仕組みと金融

（配当６時間）
学習指導要領との関連 ：Ｂ（１）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
66	p.152～153	１ 市場経済と価格の決まり方	知技	●需要量と供給量とはどのようなことを意味しているかについて理解している。
			思判表	●希少性と価格との関係について、需要量と供給量を関連付けながら考察、表現している。
67	p.154～155	２ 価格の働き	知技	●市場経済における価格の働きについて理解している。
			思判表	●市場経済において価格が果たしている役割を、効率に着目して考察し、表現している。
68	p.156～157	３ 貨幣の役割と金融	知技	●貨幣の役割や金融の働きについて、本文の読み取りを通して理解している。
			思判表	●直接金融と間接金融の違いについて、株式や金融機関を関連付けながら、表現している。
69	p.158～159	４ 銀行と新しい金融	知技	●私たちの生活で銀行が果たす役割について理解している。
			思判表	●私たちの生活と銀行の関係について、銀行の役割に着目して、具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、表現している。
70	p.160～161	５ 景気と金融政策	知技	●景気変動について、本文や資料の読み取りを通して理解している。
			思判表	●景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのかについて、日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し、表現している。
71	p.162～163	６ グローバル経済と金融	知技	●経済や金融のグローバル化について理解している。
			思判表	●商品の価格が円高、円安によってどのように変動するか考察している。
			知技	○３節の学習内容を基に、市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。
			知技	○３節の学習内容を基に、現代の生産や金融などの仕組みや働きについて理解している。
			思判表	○３節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

４節　財政と国民の福祉

（配当４時間）
学習指導要領との関連 ：Ｂ（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
72	p.164～165	１ 私たちの生活と財政	知技	●私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している。
			思判表	●憲法で、国民に納税の義務がある理由について、税金の役割に着目して考察し、表現している。
73	p.166～167	２ 財政の役割と課題	知技	●公共サービスは、どこがどのように提供しているか、本文から読み取る学習を通して、理解している。
			思判表	●政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現している。
74	p.168～169	３ 社会保障の仕組みと課題	知技	●私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。
			思判表	●社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで、これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現している。
75	p.170～171	４ 少子高齢化と財政	知技	●現役世代が納める保険料の負担が大きくなっている理由について理解している。
			思判表	●社会保障制度の充実と経済成長との両立が難しい理由を増税の影響に着目して考察している。
			知技	○４節の学習内容を基に、社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。
			知技	○４節の学習内容を基に、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。
			思判表	○４節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい課題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
			思判表	○４節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
			態度	●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

５節　これからの経済と社会

（配当３時間）
学習指導要領との関連 ：Ｂ（２）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
76	p.172～173	１ 公害の防止から循環型社会の形成へ	知技	●四大公害病の経緯や地球環境問題、それらを防止するための住民や国、地方公共団体、企業の取り組みについて、具体的な事例を通して理解している。
			思判表	●循環型社会を実現し、環境を保全するためにどうすべきか、持続可能性の観点から、自分事として考察し、表現している。
			知技	●経済的な豊かさの基準にどのようなものがあるか理解している。
			思判表	●これからの社会に必要な豊かさについて考察している。

77	p.174～175	2 経済の持続可能性と真の豊かさ	知技	○５節の学習内容を基に、公害の防止など環境の保全について、その意義を理解している。
			思判表	○５節の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
			態度	●これからの経済と社会について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
78	p.176～179	■まとめの活動 第４章の学習をまとめよう ■まとめの活動 コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう	思判表	○第４章の学習内容をふり返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、また、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
			態度	○市場の働きと経済や、国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
-	p.180	[もっと知りたい！] 公害のない社会へ ―水俣市を例に考える	知技	●水俣市の事例を基に、公害の原因と被害、公害の克服について調べる学習を通して、それらを理解している。
			思判表	●水銀に関する水俣条約を基に、持続可能性の観点からこれからの環境保全について多面的・多角的に考察し、表現している。

第４章　持続可能な地域の在り方

（配当５時間）
学習指導要領との関連：C（４）

累計時間	頁	主な学習内容	評価規準の例	
106	p.269～271	■章扉 1 課題をとらえ、問いを立てよう	知技	●身近な地域の課題を、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」と結び付けて理解し、見出している。
			態度	●身近な地域を、住みやすく、よりよいまちにするための課題を予測し、その解決へ向けて見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
107	p.272～273	2 地域を調査し、課題をとらえよう	知技	●学習した「地域調査の手法」を基に、身近な地域の野外観察や統計資料の調査、地形図の読み取りなどを適切に行っている。
			思判表	●調査に基づき、地域の課題の現れ方やその経緯について、多面的・多角的に考察している。
108	p.274～275	3 課題の要因や影響を考察しよう	思判表	●身近な地域の課題は、なぜ生まれ、地域にどのような影響をあたえているのかを、多面的・多角的に考察している。
			知技	●地域の課題の要因やその影響について、図表などを用いて適切に整理している。
109	p.276～277	4 解決策を議論し、構想しよう	知技	●他地域の課題などの実態や課題解決のための取り組みを理解している。
			思判表	●同じような課題に直面している他地域の取り組み事例を調査し、実際に行われている対策を評価し、地域の課題の解決策の参考にしている。
110	p.278～279	5 地域のこれからを提案し、発信しよう	知技	○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。
			思判表	○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
			態度	○単元冒頭に立てた身近な地域の課題やその解決策の予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野に粘り強く考察し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
主な評価材料			**知技、思判表**	行動観察，プリント，ペーパーテスト、提出物の内容
			態度	家庭学習、行動観察，プリント、提出物の内容